

夜話莊治

合  
冊四

遠13  
1890



門へ遠13  
1890  
巻



夜話莊治序

或人予、向<sup>し</sup>出<sup>し</sup>約<sup>し</sup>み<sup>し</sup>の<sup>の</sup>夜話莊

治<sup>し</sup>を<sup>し</sup>何<sup>の</sup>の<sup>の</sup>為<sup>し</sup>と<sup>し</sup>れ<sup>し</sup>作<sup>し</sup>る<sup>の</sup>願<sup>の</sup>の<sup>の</sup>纏

と<sup>し</sup>解<sup>る</sup>の<sup>の</sup>心<sup>を</sup>僻<sup>と</sup>矯<sup>為</sup>れ<sup>る</sup>若

何<sup>の</sup>日<sup>に</sup>三<sup>人</sup>遊<sup>る</sup>と<sup>い</sup>は<sup>れ</sup>太<sup>家</sup>師<sup>と</sup>

あ<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>と<sup>し</sup>悪<sup>し</sup>身<sup>を</sup>な<sup>し</sup>れ<sup>ば</sup>と<sup>い</sup>は<sup>れ</sup>と

孔子三  
人ヨクソフト  
キハ我師  
アリモヨ  
キモソヨ  
テハソレニ  
シキモソヨ  
テハワカヨカ

夜話莊

以集齊

ナカルヲア  
ラタムルト  
ノタニヒシ

改免。其<sup>その</sup>ちや星<sup>ほし</sup>あふれとバ。ナツ<sup>なつ</sup>能<sup>のう</sup>  
成<sup>なり</sup>笑<sup>わら</sup>。そ身<sup>み</sup>振<sup>ぶ</sup>の美<sup>うつく</sup>と揮<sup>ふる</sup>く。こ  
亦<sup>また</sup>尔<sup>も</sup>從<sup>したが</sup>り。何<sup>なに</sup>のくゞ里<sup>さと</sup>よくき<sup>き</sup>櫃<sup>び</sup>  
戸<sup>と</sup>款<sup>かん</sup>。之<sup>これ</sup>形<sup>かたち</sup>安<sup>やす</sup>好<sup>この</sup>んと。し<sup>し</sup>のい婦<sup>いづめ</sup>。  
天<sup>あま</sup>明<sup>あき</sup>卵<sup>たまご</sup>の春<sup>はる</sup>  
滄<sup>そう</sup>浪<sup>なみ</sup>令<sup>を</sup>  
一<sup>いっ</sup>瓢<sup>びょう</sup>  
〇

衣冠莊治揔目錄

一ノ卷

鏡<sup>かがみ</sup>八<sup>はち</sup>善<sup>ぜん</sup>又<sup>また</sup>化<sup>くわ</sup>すの<sup>の</sup>説<sup>せつ</sup>  
手<sup>て</sup>柄<sup>びら</sup>虫<sup>むし</sup>志<sup>し</sup> 説<sup>せつ</sup>

二ノ卷

化<sup>くわ</sup>物<sup>ぶつ</sup>多<sup>た</sup>の<sup>の</sup>説<sup>せつ</sup>  
色<sup>いろ</sup>慾<sup>ごつ</sup>吐<sup>と</sup>の<sup>の</sup>説<sup>せつ</sup>  
惡<sup>あく</sup>テ<sup>て</sup>外<sup>がい</sup>道<sup>だう</sup>の<sup>の</sup>説<sup>せつ</sup>

衣冠莊治

三ノ巻

七福神の説

不足の家と七寸の説

四ノ巻

飢饉小諸あるの説

悦のお世界小樂なるの説

川祿終

一ノ巻

繼ハ善アル化するの説

永き夜のよの眠の皆目さ小且那内義と打交り

よ代成始丁稚女の差別なく怪は影出寶題

小丸く怖と始メタ侍并用止メてそ後ばんとう乃

莊治を衛小こく中一て進んあり我を衆

又交へく中い小傍く口をろへ今入られん

死さん先出前くやん打や少を能一終一也

いりまであさま成柿の魚は流くと一顔

つき少くおと一啼ハ不重寶粒は啼いまるん

下子。尚世影一ハ不待もや似合さす一

昔一癖とまよしうぐ。二年や不重室なりと死  
ゆ小して皆の尻きひてくばされや。おきめさ形小  
とせにだちひいてむりく。或田舎のく土  
百姓の息子小どらの鏡八とて。きんぐいまんを  
系あふま者ありや。あぐ口とてくとして。グ  
ワシくいやう何もあるき其古の雷と。あふま  
いづくまさうど中。鼻と高雄の紅糸とて。そま  
そ月少と。樂ハ喧嘩博奕と肉とて。親の内  
ふ。片時と。因果な子トヤ中。あまうめぬ。あ  
な親父の不年な。法談する者くさひ。母トヤのい

けん。きうとむかく。佛の顔も三度と。兄向とやらぬ親の家  
兄ねがすまぬ。殿子の教つて。投ふ喧嘩の相も。ほりかす  
の。皺がよふまで。年寄と。此樂とがま。と。類以て。友  
達と皆因トく。と下月小耳死て鼻かむ。かまふ。小くよ  
けと。知ずして。我ぐる。小三つ者か。や。強ひ執する風。吹  
連中。四五人つれづれ。物とるも。ひきす。や下汰よ。ので。庄の頭中。  
腰小尺八さす。う。田舎お留幸と。足て。律を。か。そ。や。鏡八  
四人。おむひ。ひ。は。是。か。何。軍。と。も。ぐ。小。そ。一。合。戦。と。ら  
思。ど。と。タ。ア。の。思。ぬ。故。北。小。丸。着。と。も。討。北。よ。さ。世。裸。で。道。中  
双。六。と。も。本。ぬ。家。ホ。ぐ。今。日。の。才。在。朋。友。の。は。し。み。よ。一。生。ふ。ま。ひ。

無心と云ふ再いりやうとまず不世帯てなれ。原小のとき  
ぬじが亦もと下てれむ中。いふ女人の掃へ無心もひし  
ひとの己と頼む其の君で。親父や娘れおと。ふふいは鏡  
へも能く言と和て成程りひひひひ。己が無心とひひひ  
の氣早借まひ。もう無心といまひ。腰の尺八ふ九つで尺  
八に全盛の時。数多く書月で買ふのなれ。さあつ  
ふ今の親父小小柄又両小。ひひひ。いやで。おと  
買さうや。おぬと逆小。おし。書換車。四人の者。来て。いふド  
と。顔足合何の道具市小。おし。とて。ふ拾ごめ。なひ尺八  
が。おと。いひ。我。幸。が。や。よ。通。小。小。柄。又。両。小。買。う。て。や

ろす。いづつ。尻と。ひつ。げ。引。摺。下。法。と。懐。中。一。ふ。お。買。を  
ぞ。十。兩。持。て。う。せ。あ。れ。何。國。と。も。さ。く。吹。人。を。と。履。は。逆。  
せ。る。鏡。八。大。キ。服。と。て。悪。き。奴。を。も。く。も。生。て。お。お。く。ま  
ト。と。身。ま。ま。と。せ。一。向。を。と。そ。ふ。立。一。鏡。八。大。キ。や。短。氣  
一。撫。ま。し。や。一。待。と。お。と。か。け。一。お。し。有。性。の。人。と。う。や。ま  
れ。小。男。お。れ。と。あ。巻。の。書。物。と。服。は。納。め。一。存。在。の。経。巻  
と。尺。八。の。付。込。悪。鬼。の。鏡。八。悪。口。一。尺。八。と。打。倒。さん。と。お。お  
一。お。お。前。で。一。言。る。い。や。悪。や。つ。ら。と。逆。の。ど。一。お。お。前。で。い。や。あ  
相。子。返。言。次。才。で。立。外。せ。ん。と。一。句。數。一。傍。若。無。人。火。程。を  
立。焼。む。と。い。ど。經。藏。女。一。と。さ。ら。が。ず。よ。く。ま。け。よ。不。下。程



三本の  
 木の  
 葉の  
 色  
 多  
 くの  
 葉  
 の  
 色

夜活  
 海流  
 一  
 卷

かる。田系坂の火いゆるせばや。張の真心の神言。恩と依。  
せんどうのちぢれとや。あまふむうまの。そまきいぎと  
くつがす。馬麻者といはれてかん。いほかく。いほかく。鏡  
ハぶ心のうちの。珠教はさ小。ゆあけこま。我あま。と。印証念  
佛中。あまふて。口の内。少くぶつくと。あまひて。そまきいひる。恒  
我の鏡ハ。尺八つて。おまめい。ハ。巴。う。箱。あま。我。男。と。まて。や  
る。あま。途中。中。や。先。あ。や。あ。中。我家。い。ま。ひ。奥。一。并。と  
あ。ま。う。の。は。系。ま。い。れ。多。葉。松。盆。と。言。と。で。一。十。寧。あ。ま。つ  
す。れ。ハ。鏡。八。を。と。う。や。う。氣。味。が。う。う。孫。よ。と。こ。ま。ぬ。て。か。い。あ。ま。  
恒。藏。ハ。つ。く。く。尺。八。あ。ま。と。で。何。ほ。の。誰。も。見。せ。と。と。て。あ。ま。又。ハ。

のぞこ  
やてのふひ。けんハ。あ。れ。ど。ま。ち。が。顔。の。ま。う。あ。ま。小。判。又。西  
又。買。て。や。る。代。金。と。は。今。も。持。て。い。ま。や。ま。と。い。は。れ。て。鬼  
神。よ。あ。ま。と。う。ぐ。る。ふ。ひ。ま。や。り。し。て。鏡。ハ。今。も。小。判。め。ぬ。は  
悲。ま。う。箱。又。両。が。等。ハ。扱。ま。て。又。十。が。虫。打。と。か。ひ。此。人。ハ  
友。を。ま。と。と。の。悪。祿。り。り。と。や。汚。布。一。無。礼。な。る。管。して。尺。八  
か。一。て。と。と。それ。と。い。ふ。あ。ま。一。く。恒。藏。ハ。一。や。少。一。と。ま。じ  
か。ず。虫。打。の。ま。ひ。物。と。高。上。実。六。の。ま。じ。物。好。け。尺。八。と。榴  
小。本。小。判。て。楽。少。と。あ。ま。ハ。扱。く。下。虫。物。と。い。ま。と。あ。け。し。是  
な。屋。敷。それ。ハ。悪。ひ。好。好。ト。や。尺。八。で。味。増。す。と。一。さ。り。や。味。増  
す。れ。い。で。榴。人。ハ。なん。き。扱。済。ハ。われ。尺。八。ハ。十。マ。チ。マ。チ。ヤ。ク。て。

後五巻名



らでついで此物好で。新事知られる。学問斗りする人ハ。危  
角世百少うとひとの味暗とするのハ。蓮木が役。又ハ。五分  
役がある小。てもめつとせな。あきまて。経茶の茶よ。よさ  
や。奇。款として。その出来ぬ物と。を原するの。趣といひて。  
役ハ。おけりて。摺小本と。二年。前。吹。き。よ。て。又ハ。音ハ。と。ん。と。  
出ず。天ハ。蓮木。よ。す。ず。き。せる。の。移。り。小。茶。碗。ハ。サ。サ。サ。  
前。の。移。り。小。こ。つ。え。ず。く。の。移。り。よ。歎。か。ず。け。この。移。り。小  
人。ハ。な。ず。其。役。の。ある。と。の。と。それ。と。ま。げ。て。つ。と。と。ハ。大  
子。を。理。し。や。お。返。事。ト。や。お。ま。ぬ。事。ト。や。う。い。出。来。さ。す。理  
小。逆。ひ。も。物。と。換。ず。る。の。ト。や。ん。暎。と。い。ん。せ。ぬ。ア。ー。お

またれと。鏡ハ。ま。い。の。大。聲。グ。ウ。と。家。内。よ。う。な。り。て。の。く  
ま。れ。ハ。経。藏。の。頭。と。さ。げ。も。と。つ。ま。金。ち。さ。事。小。よ。い。事。な。く。  
知。れ。通。り。が。皆。ひ。事。と。ハ。知。り。あ。り。好。方。小。つ。ら。て。我。方。と。わ  
す。れ。物。の。名。を。さ。す。と。い。ひ。換。ト。さ。せ。ん。と。と。せ。一。事。の。あ。る。と。つ。じ  
や。お。ろ。え。よ。其。役。小。そ。む。け。バ。方。と。と。ん。ず。る。と。の。汝。が。川。さ。げ  
小。お。と。さ。ち。一。其。役。小。そ。む。いて。身。と。大。ひ。は。換。せ。一。と。の。ら。  
今。目。前。小。あ。り。つ。ら。汝。見。え。り。や。是。と。得。す。や。亦。汝。が。先。刻  
い。言。言。小。け。の。移。り。よ。人。を。ず。と。つ。れ。が。歎。の。移。り。小。な  
る。人。多。し。是。又。別。目。前。小。あり。汝。ハ。え。り。や。拍。す。や。く。亦。我。ハ  
汝。が。尺。八。と。物。好。し。小。買。つ。ん。と。い。つ。小。お。好。と。なく。や。も。な

く何れもなぬ虫おのゝ其足八と。又雨はまゝ雨雨し買  
くくやまゝあやつて。世間人何れも得ずやく。此の  
病と云ふてしまし。候し得ずんば汝何れとあづけの酒  
小群よて人と痛め変ちおの介小丸待かき悪し者今  
大官正ひつらつて。渡すまき。但し妻少くしますらるを同  
つめらして。鏡八はさるき小蛙とよひのど口ゆき蛇よのこま  
ぬまゝやると。いやといふと。大官正かん線香と前もて。  
小禪の侍ぞ。殊勝を。経巻を。あらしげ。ままと。整  
ふ。言はるるといふを。たまたま。一寸と。動くまひぞといつ  
くれぬ。あゝ。灰小線香。うらやど。なれど。何の言が。田舎の

夜半

あゝこれづいふ。まゝなれぬ。結如。足八と。し。氣も。ちや  
く。ぬたい。くつと。する。ので。今日。い。から。悪目。で。お。極。ま。せ。め  
小あや守と。登。か。う。す。で。小。書。か。ふ。ほ。つ。り。秋。の。夕。景。氣。分。て  
今。宵。月。す。ま。ほ。く。い。と。淋。き。椽。先。小。一。つ。ホ。リ。片。と。舞。て。  
鉄。の。板。サ。の。か。ご。も。持。よ。ゆ。く。風。の。ま。じ。く。少。頭。を。な。れ。猛。男  
を。後。み。み。一。人。か。ず。り。口。の内。我。れ。お。小。あ。や。守。の。風。少。と  
あ。て。る。バ。こ。と。く。つ。さ。免。す。ま。い。ぬ。ん。さん。よ。五。積。毒。と。世。法。と。や。う  
る。親。を。示。け。侍。と。ア。ン。セ。て。る。さ。ぞ。や。さ。ぞ。く。さ。ぞ。や。く。ッ。ホ。リ  
責。行。む。と。人。か。さ。す。の。我。ら。す。る。ゆ。と。つ。つ。五。害。と。起。せ。し。が。  
悪。よ。つ。け。り。や。エ。ま。も。カ。と。い。は。て。具。と。つ。つ。ず。考。へ。し。が。夜。と

夜半の物語

ほのくくと明方の鐘よおとす横多とちあはれもさしうらあ  
アヤヤあやまのうさくといふおと周経流つて池うをて  
高聲よ昨日よ一の返言サヤいふそれかんで得すやく  
やつめれは繞八のうさ小天窓とつけ又あめ自方の豊言提  
心両と合一依和言句も絶一文字をまぬまぬ君の口を  
悠らぶのこの返言是あくやあぐ一其役小むわく  
と又小換せしもの目あ小あて之別世繞八天のさうづの百  
姓代我勝もできぬや喧嘩棄ちとたとせんく  
一と樂やす物好尺八と摺小木よのき君の内教の如  
くあてアキ之川ありくららさりり世方とふ不折小サヤ

我斗りうや親や一家の奴を小味噌とつけ摺小木と尺八で  
火入と幾世もよきせ侍と茶挽親と女末のゆく小木とひ  
好女と存行小一喧嘩博奕と商賣と一商賣の百  
姓ハヤぐさみもせず一ツとよの事あてま筆のがくゆを  
かれぬ家ぐ悪業是か首あちる斗りの土俵際でドフ  
コイ。コツタ今日も今欲のまねとぬき捨て生れははれ九  
裸侍負の所の運とといへ勝いでおころ我悪よ扱亦人の黙小  
なや一者目前あてとの問ハ別家小を比上事とせし  
そ耐小大津繪とやとア一そ中小猿が提灯と釣鐘と音  
小町けし繪とアハ提灯ハ下りてまぐりて釣鐘ハ小あがりて

後古名

怪き侍やを侍と見て。さすふハ新ととされ。遊分田  
 舎繪なりせば。ひ小今を魚ひあつた。此張の画ハ元も  
 さね家海峽。挑打の自然多ひ。小今を。一我分妻子とあを  
 んト大幸小一。まひは極まり。約鐘のまや親我分業と。バ  
 かりくす者ハ小てハあひ畜生トやとの。張の繪。タツタ  
 毛。之助。之と。てさ。人の仲居の。おち。小。何。小。足。の  
 ひ。振。小。生。んで。も。い。大。身。の。親。と。親。と。目。は。あ。や。な。く。親  
 見。ず。耳。の。あ。れ。ど。も。い。ま。ま。き。ま。す。侍。も。足。と。あ。や。な。く。後  
 小。立。ぬ。ハ。中。風。病。の。少。く。少。て。一。向。を。多。て。助。け。ぬ。れ。ば。け。も。也  
 と。悪。事。小。侍。れ。く。て。又。達。者。ハ。病。中。と。今。昔。と。さ。え

こん種道換の。侍。も。と。あ。ま。も。悪。鬼。突。徒。禪。方。さ。と。持。途  
 後。で。も。悪。む。く。あ。ま。の。中。中。と。人。で。サ。の。我。本。と。は。小。な。ま。え。人  
 人。小。な。ま。え。ん。や。お。と。の。親。と。孝。君。と。と。つ。り。ど。や。五。拾。が。本。打。乃  
 カ。八。尺。ハ。廿。小。賣。が。誰。と。笑。う。あ。つ。と。い。つ。ま。ぐ。裸。而。貴。の。男。也  
 生。れ。ハ。お。ひ。と。な。く。と。と。ら。い。て。と。ま。い。や。小。な。を。一。世。身。と。百。あ。と  
 と。子。あ。と。と。たり。て。控。ぬ。高。大。代。親。の。ご。と。白。雪。の。私。欲。く  
 清。く。水。小。な。一。欲。悪。の。流。小。志。づ。一。と。助。け。お。の。も。君。の。妻。戒  
 少。て。始。て。奈。落。と。井。本。の。玉。川。山。吹。の。家。中。い。よ。身。の。か。ま。事。と  
 ち。ア。お。け。く。道。小。す。あ。ね。と。一。ろ。や。世界。と。我。と。別。て。な  
 く。何。の。造。作。と。い。を。こ。と。親。子。向。ハ。月。と。孝。ま。小。向。ハ。自。然

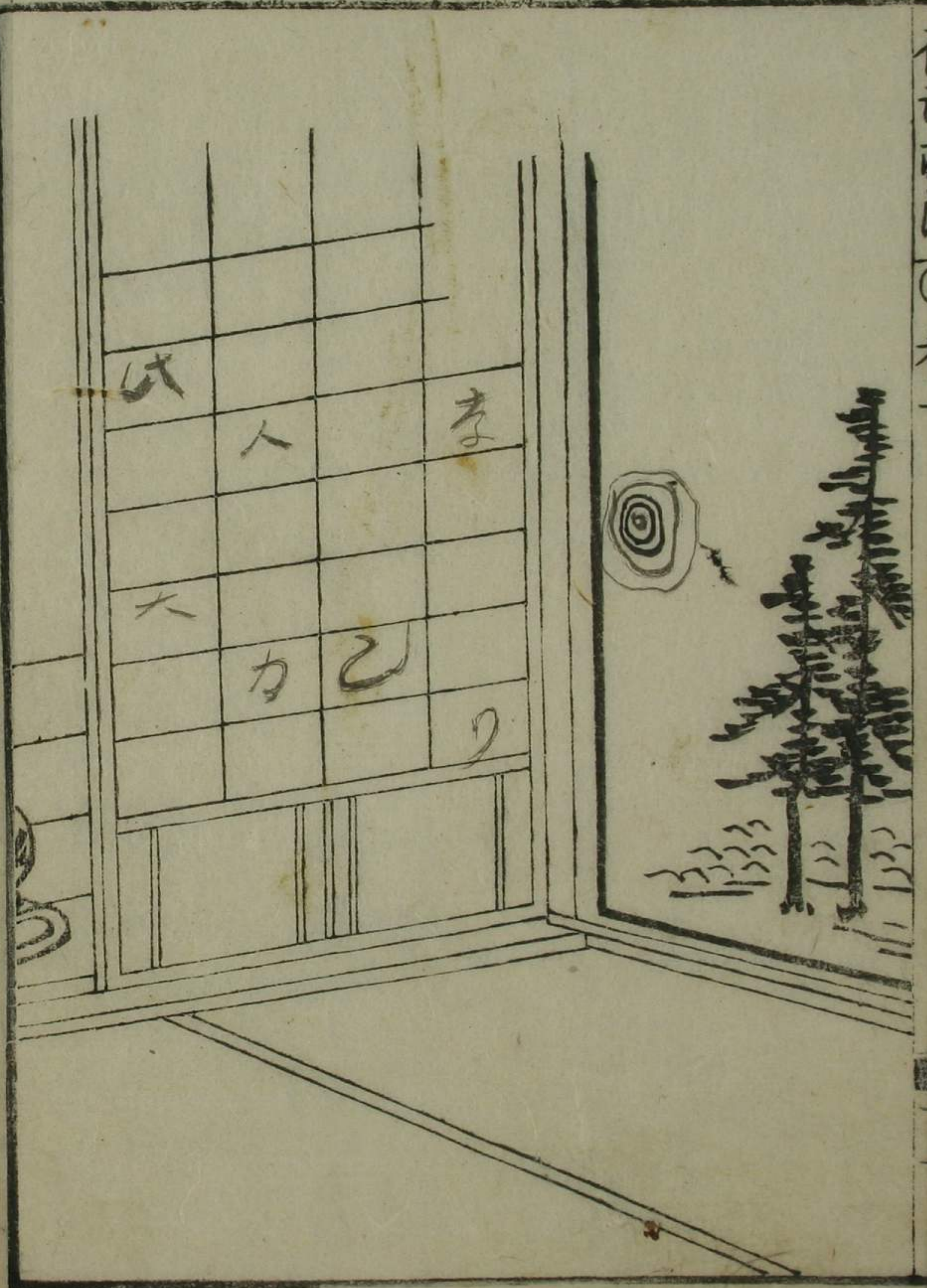


親  
子  
孝  
柳

命力  
大力

友  
人  
也

之  
也



人 孝

力 乙

小忠。忠。服。合。岳。せず。柳。八。練。花。雪。白。妙。露。を  
露。紅。糸。よ。お。け。紅。の。ま。ぬ。く。天。の。あ。る。る。楽。と。玉。時。計。い  
形。く。貧。く。と。く。と。る。一。ま。ず。蔬。食。と。そ。の。水。と。飲。て  
親。の。心。と。悦。し。め。人。小。を。理。せ。ば。無。理。い。ふ。べ。夫。小。と。そ。の。人。小  
も。無。す。何。と。懼。れ。何。と。憂。ん。今。こ。そ。液。の。大。夫。と。勇。す。め  
仁。藏。と。大。小。悦。び。あ。つ。れ。鏡。八。出。ま。さ。く。こ。を。な。が。り。上。の。難  
く。下。の。あ。の。水。潤。よ。り。火。い。も。な。の。ひ。は。甘。やす。一。汝。と。是。と。勤  
つ。一。み。て。善。友。小。親。く。吏。り。今。と。の。友。と。こ。こ。ろ。が。肝。要。と。す。て  
鏡。八。子。と。つ。一。ほ。ひ。く。も。有。難。一。此。有。難。さ。る。の。道。理。と。す。て  
ながら。と。さ。さ。と。一。貴。君。の。少。飲。つ。一。先。祖。の。少。息。父。母。の。息

悲。今。と。の。過。と。言。実。小。あ。つ。さ。め。父。母。と。悦。さん。吾。の。急。げ。ト  
や。沛。い。と。ま。也。克。已。て。徑。我。小。徒。と。あ。つ。く。一。汝。と。是。と。勤  
其。後。親。の。孝。行。い。ん。方。なく。家。業。よ。振。と。ち。一。た。ん。一  
孝。立。て。萬。言。の。長。者。と。な。さ。て。家。業。一。上。と。う。や。ま。ひ。下。と  
あ。ん。ん。た。ん。れ。誰。い。あ。ん。た。く。皆。人。が。汝。の。鏡。八。く。も。弱。ひ  
諸。人。悦。づ。也。聞。傳。て。い。ま。き。今。の。世。れ。人。と。言。み。化。す。り  
也。と。昨。日。笑。さ。ぬ。く。一。咄。と。や。何。れ。と。先。早。い。の。終。へ  
先。く。是。で。我。お。が。あ。る。を。お。け。ゆ。い。す。ん。ど。次。の。鏡。ド。ヤ。サ。ア。な  
ん。か。と。悦。し。一。こ。な。ん。や。已。ふ。ま。い。つ。う。も。う。く。い。やく。是  
は。一。と。真。標。と。が。と。一。お。つ。つ。て。一。終。の。ぬ。ぐ。得。く。ま。の。の。は。よ。い

宝敷小唄—まよよとやが我未が唄—の重口山て。怪馬  
下もなれ。少—良味がえちやうがやい。あにいや下。目  
慢唄トや。目慢唄でたむのい—の。柄唄といふ事。誰し  
と多りの事なれども。柄唄のま。沢の尻めつ。小。初。や  
せまひ。知ぬといふ。あ。我未が手。柄唄トや。て。小。誰か。く。も。  
柄唄ト—。時。い。が。こ。う。して。せ。う。して。せ。う。して。仕。方。  
とや。て。仕。事。の。お。苗。こ。も。で。す。り。事。が。空。小。が。り。亦。て。名。付。て  
て。空。手。が。あ。ら。か。り。や。い。と。お。り。ら。目。慢。唄。の。話。が。ら。も。  
下。や。く。と。ぬ。千。貫。目。持。かり。と。も。式。子。雲。目。持。の。歌。と。す  
る。と。表。付。斗。で。あ。す。と。今。ハ。ス。マ。ン。ビ。内。訛。が。お。や。う。柄。を

世間の風安四角四面を顔として。千。フ。レ。カ。ン。フ。の。い。や。さ。さ。て。  
不。行。状。を。一。塔。か。う。話。で。実。が。ま。ひ。く。実。あ。あ。う。と。う。  
い。う。物。あ。ら。化。物。ト。や。是。か。ら。長。太。が。月。さ。結。小。化  
物。の。え。ど。か。ま。の。も。天。窓。う。う。が。ま。く。と。只。一。口。小。唄。して  
ま。ま。と。う。ア。夜。ハ。な。ぐ。ひ。一。服。志。や。

夜  
名  
在  
二  
の  
巻  
一

西玉屋

二ノ巻

化物をわいの流

狐化物の由来始り。テニカラク。天地の間より。変  
 化の理はあれど。元化物とく。別はなかなひものどや。狐が  
 狸小化もせず。茶椀がきせは小化とせむ。己が長太り  
 化とせず。太がお玉小化とせず。何と世界小と  
 ニつともあひぞ。さりきくふ。害といはば。皆ふま化すと  
 ンば。皆化物。最前よりする。咄。いろく。皆て化て行く。  
 娘が狸母小化をやら。息子が親父小化をやら。式が妻  
 頭は化をやら。旦那が乞食小化をやら。兵衛が内蔵が鬼女  
 又化をやら。調が牛鬼と化け。猫が三味線。狐が靴は化け



やら。草本国土が悉皆化物。こゝいやはたと一六皆剛との或  
とら 下小氣トヤリ立す。若者ありたる。そんなは何所の何所よ  
とら 狸が住んで往來の人小結口とす。すすみといふ等と聞哉  
ら ホッ今宵いけずきと人先陳部もぬ先よ。とむふ  
つ づの鬨の夜小一散よかけゆきて。西のけく東の辻東れ門  
か かに西れ門。あちぢこちぢ中。式之十遍一と。何の事も  
あ あゝ氣の已と。おそれぬとるや。まともませー。足先よ。ち  
ら らでとさつると曲者とドウドウと付もやまむつくと  
さ さつふ。火ああげ奉性であはせくくと。握春でさん  
さ さんよ。おてごうつとむくめくふ。サアエてやつふ奉性成。

あゝおつこと。懐中大繩やまはり。融く足音。彼付小  
さ さの我がぬてし。線のたつたでるで々ふ小。おとはずり口と。あ  
ん んごであき。ヤツパリ己と化されさ。あきまこーやや化  
さ ささのの。皆此方の心うら。自ら化て。後人小化さ。なり。小  
豆 豆餅の落り小馬の糞喰てなやと。悪香く欲は化さ  
れ れ。銀よつまられて。一生うらつく人とあや女。の氣量は化さ  
と とあや。己がきや。小化さ。あや。かゝ小化さ。も小化  
さ さ。目本口と。腰を妻山の神や山子小化さ。とあや。  
化 化すとして。分てそれと。化さ。祓ど。うら。氣の。己が  
只 只く外一月とつけて。化物とおそれずと。我が憂心と。

おそれ給へ(天狗といふを)おでかかんと。皆銘くと。其仲る  
 トや。鼻のまひ。自惚の相人の悪事といふくと。口大きく  
 只しい事と。齒けさんとして。齒はすもどく。あきとんごし。き出  
 そとして。眼大きく。耳猛く。人の上折ね根とつく。貪欲ふ仁  
 の瓜ぢぢく。和合と引さきたがり。顔直赤小。恥と加ね。一生  
 今赤面の相似田山伏の黄冠と掛す。つと足ま。人よ似く  
 人少とあぢぢ。獣より。穢は天狗の姿也。此相の下つ  
 よそとある。そのハ。木の葉天狗と。つ得給へ。亦幽霊は。比  
 裏やく。剛欲悪黨よ。あらねども。只う。ハ。事して。腰がさ  
 く。よひ事聞て。消あく。さまでの。惣事と。又よせす。吾

少とつとす。悪少もつとす。穢は中途よ。送ひの者。只うとく  
 と。控ひ。じぢと。親ハ。慈して。便よ。たむひ。あまて。ハ。一生  
 う。し。潔が。なひ。か。ひ。や。と。一家。二。門。ハ。ひ。な。さ。及。ね。ん。ご。ろ。子。同。行  
 中。且。好。寺。の。和。尚。と。お。ん。で。の。見。見。お。洲。と。ひ。と。む。と。お。よ。あ  
 ち。く。ハ。穢。よ。ま。も。つ。と。消。あく。ぬ。め。り。小。き。悪。事。ハ。せ。ね。と。法  
 な。し。ふ。ち。で。一。け。う。ろ。く。さ。ま。よ。て。人。と。と。な。さ。ら。ん。さ。と。ん  
 行。我。身。と。家。と。き。を。く。ま。ま。よ。ト。口。泥。捧。幽。霊。程。せ。よ  
 い。や。ら。し。き。ま。の。ハ。な。い。危。角。よ。の。事。小。足。腰。か。く。ハ。物。し。く。ハ  
 上。ハ。氣。を。者。ハ。幽。霊。仲。る。ト。や。油。乃。め。れ。れ。先。此。め。つ。と。幽  
 霊。吐。し。ハ。是。で。け。て。是。か。ら。り。つ。さ。り。を。事。成。ト。や。若。石。ハ

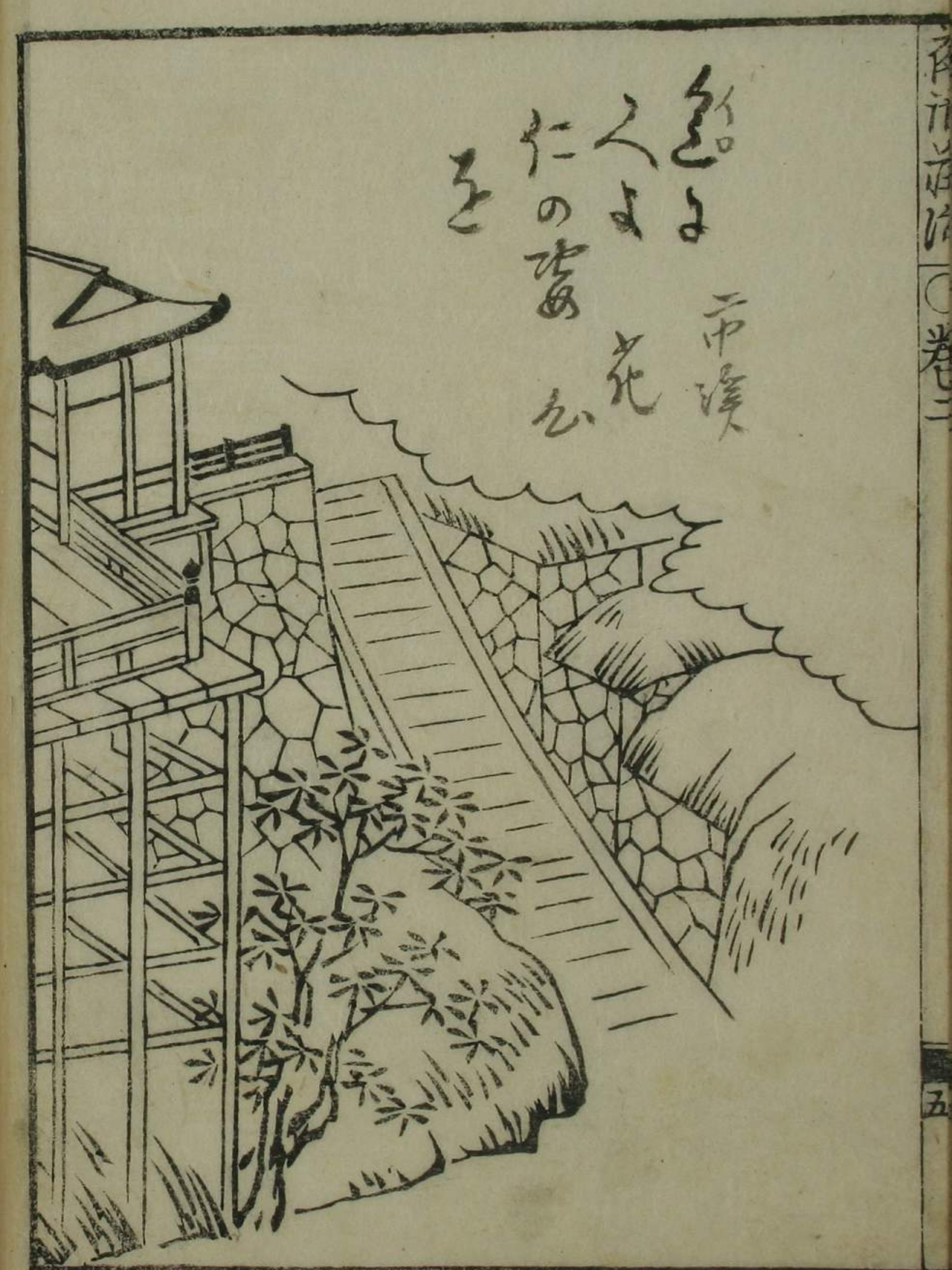
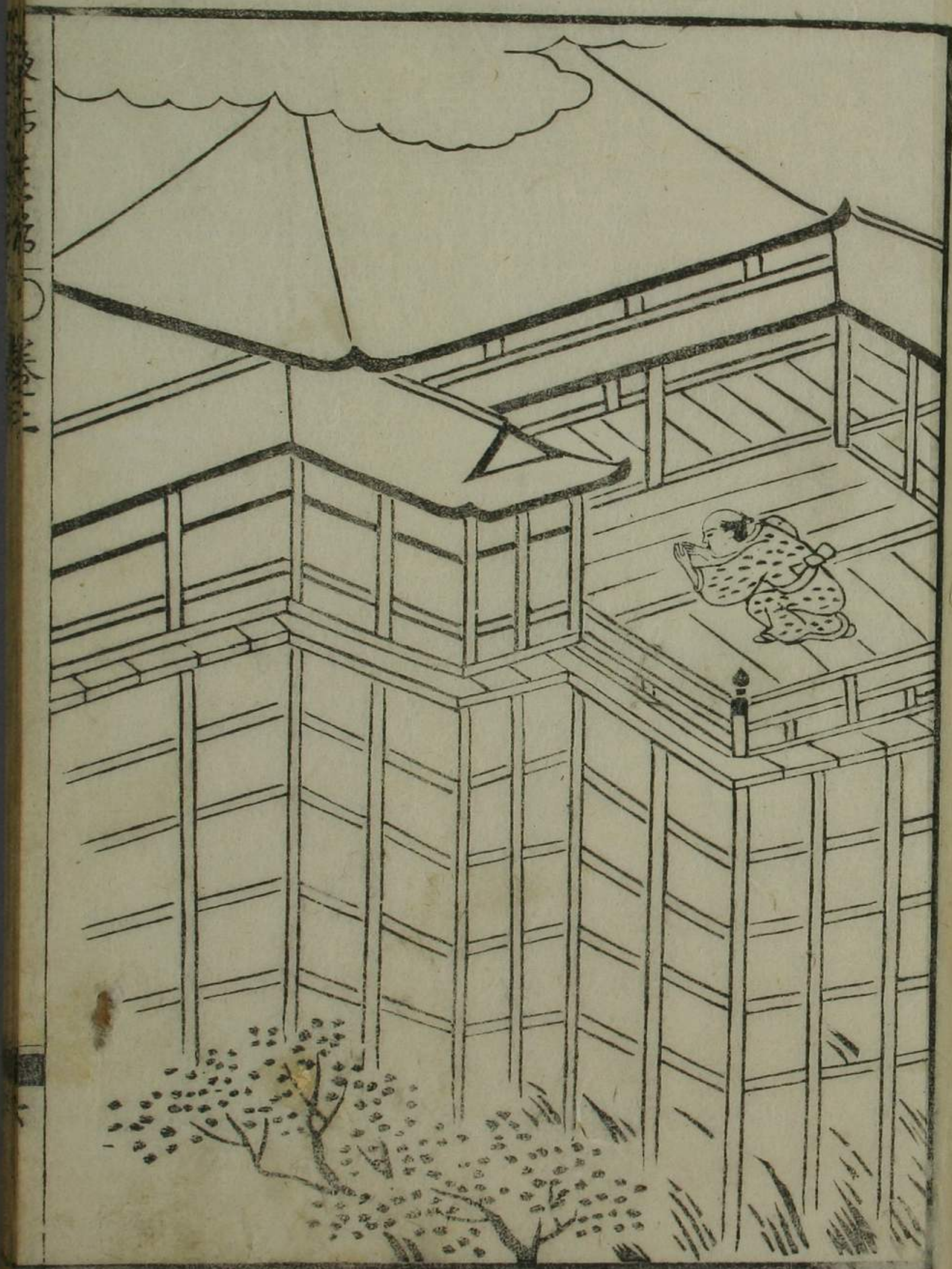
二巻  
色慾  
吐の  
玩

麻あしどどししややめめつつ小こ悪あくよよととああららままらら二二扱あててんんななりりやや  
多た寺し吐とししやや今いましし小こ化け物ぶつ吐とししよよををあありりのの亦またくくおおささりり  
ししくくここひひののゆゆええ小こ故こ人じんとと父ちち事ことととああせせらられれるる色いろやや  
ととばば色いろのの寺しゆゆくく又またれれ一いち字じでですすんんででああるる小こ若わららりり寺し  
のの字じととそそつつてて多た寺しとといいふふとと考かんがへへるる故こ人じんのの言ことばはは  
ぬぬききささーーゆゆぬぬ寺しとといいふふ字じととつつけてて多た寺しややああるるがが別わかれれ  
のの言ことばはは真まこと沢ざいいのの色いろとと寺し小こををららるるとといいふふ寺しのの言ことばはは  
ハハ多た代だいとといいふふ際さいゆゆるる且かつおおとといいふふ家いえのの衰しん微ひ息いき子こぬぬハハ  
郵ゆう當たう内ない多たとといいふふ血ちとといいふふささとと亡なしな家いえととつつぶぶ一いち國くにとと  
傾かたむくるる大だい寺しととちちががハハ此こゝ多たくくとといいふふととやや田でん葉え坂さかのの火ひ吐と射しやのの小こ指さしのの

先まででととききゆゆるるななままどど火ひののももああららううてていいとと色いろかかりりぬぬまま婦ふ  
ででささとと列りやくののとと一いち男おん女にょのの同どうハハつつるる特とくにに志しややれれ言ことばとと  
ととつつ一いちむむアア何なにららももつつててここいいののトトややくくとと思おもひひてて  
いいららずず別わかれれ祈いのち禱たうととやや或あるてて富とみ家いへよよまま人ひとのの娘むすめああららううららめめ  
かかちち世よ小こ勝かちれれたたれれがが誰たれとと心こゝろとと掛か幕まくらのの中なかゆゆとと久きう夜や何なに  
をを借かととややららんんいいふふのの思し案あんののおおれれ衣え身み小こ後ご脱だつくく思おもひひ  
とともも不ふ相さう應おう子こををええかかれれババととそそととせせんんととああるるままとと思おもひひ  
ききららもも山さんももききれれががくく清きよ水みづ寺てら一いち参さん詣ぎしし心こゝろ一いち途と一いち紙しををとと込こめめ  
此こゝととててもも成じやう就じゆうせせずずババ生なまてておおひひななきき身みのの終しゆう末まへたたのの  
一いちみみののななまま世よ小こああららううららいいとといいふふ意い山さん小こ身みとと朽く木きとと色いろ

されまゝとてかたし。舞臺より飛んとせしる。観音ハ木  
 どりきあましく走り出。天宮と帯とを足も吹山  
 まで方くとく。無体なびと結つくれ。さりとしてま  
 小迷惑な並で。かろく。ナリや無急。うへおびおせて  
 助く。志んぞ利小とせらぬ事。亦飛どこのて死ん  
 で見よ。主人や親いふ及救多の人小。親依とかけ。  
 世宵ふて。大き小笑。れけ。死の。あの娘ゆや。  
 い。木とよお娘よ。悪名とせ。此観音よ。災難と  
 け。それで来せ。よろろか来せ。す小。片論と。さ。色  
 の機嫌。は。と。一。や。一。生。病者。と。あり。家。ひ。と。と。持

てあま。く。く。死。小。お。の。我。小。を。体。と。い。か。け。  
 小。や。罪。と。い。か。ら。め。又。汝。ハ。事。か。り。親。や。い。れ。今。を  
 だ。と。小。舞。臺。を。と。する。者。あ。り。志。が。け。れ。と。あ。わ。つ  
 じ。や。つ。ろ。り。を。巻。を。と。や。已。と。お。む。り。ハ。已。返。事。と。結。苦  
 なる小。あと先づの。ポイント。ナ。過。と。足。て。仁。と。な。と。い。  
 る。小。あ。ん。ま。や。子。了。管。遠。で。れ。ま。と。下。が。あ。の。ゆ。え。小。よ。の  
 る。小。も。持。あ。ま。し。と。や。ま。づ。て。飛。し。て。の。け。さ。ん  
 ぼ。我。ホ。が。佛。か。と。学。問。の。業。力。小。い。や。と。や。ど。り。と  
 か。て。ぬ。く。汝。と。あ。ら。今。と。ど。悲。ゆ。え。小。す。つ。つ。お。と。今。  
 扱。く。厚。代。呂。物。を。扱。く。と。い。ハ。事。ハ。汝。め。ま。の。か。ら。ぬ



色  
 人  
 仁  
 花  
 公  
 二  
 市  
 漢

卷二

事。慈悲せん人の心なり。まど。そのあつれも是よりぞ知  
ふ。心の故と云ふ。又云。慈悲なる。慈悲の極上。親切。親と  
おす。事ぞかし。慈悲の心のある人の。法人と云ふ。仁と  
なり。此方の。出家の大慈悲。ついで。汝よ。かぎらず。小人乃  
戀と。たよ。ハ。皆。色。欲。あて。不仁。不義。なり。名。の。後。し。と。好む  
とい。ども。云。我。と。制。する。佛。心。あり。此。心。つ。小。ま。う。せ。く。お  
け。を。欲。の。つ。あ。つ。く。と。と。ん。と。く。怪。家。が。あ。ひ。磁。石  
克。鉄。と。引。と。曲。く。計。と。ひ。ず。號。伯。聖。と。く。す。ん。ど。と  
々。り。塵。と。す。ん。ま。し。て。況。や。萬。物。の。長。く。そ。方。も  
人。かん。ば。は。舞。舞。を。う。ら。ん。ん。ご。や。お。と。よ。く。た。と。ひ

き。で。滅。の。意。と。い。す。遍。一。汝。が。い。や。と。お。と。の。娘。を。  
別。と。や。お。主人。を。ま。ば。随。分。く。い。と。ホ。く。お。も。ふ。が。家  
来の。及。び。て。を。れ。と。ま。だ。ん。講。で。忠。義。と。つ。く。す。が。親。  
の。孝。り。教。育。を。立。身。是。と。な。つ。け。て。慈。の。初。り。と。情  
切。り。と。と。い。ふ。の。と。中。と。と。ん。中。観。音。の。お。り。  
ろ。お。う。く。さ。と。し。の。入。る。大。慈。悲。の。佛。光。の。な。う。ふ。つ。ま  
れて。先。非。と。悔。と。て。彼。界。の。意。と。云。ふ。と。我。が。と  
り。す。れ。と。主人。小。つ。う。と。急。け。ま。ば。忠。孝。す。ん。と。き。名。と。持。し  
少。く。や。老。い。は。も。と。若。く。迷。ひ。あ。き。の。只。此。道。利。口。發  
め。と。あ。小。な。ら。ん。鈍。な。う。と。ふ。と。量。を。う。れ。少。と。な。り。す。

どしどし時をばさるる。若くても。鼻をけでと。やい  
やんやん早。こころく。大寺の命と。塵芥と。大切の  
金銀と。まんともおと。びん。うー。六。一。方。ト。や。危  
角。人。カ。で。い。ぬ。く。随。分。く。休。心。と。信。心。し。け。悪。テ  
か。た。と。拂。ひ。と。せ。り。ぬ。換。小。す。な。し。よ。せ。り。け。ぬ。よ。な。  
け。方。う。ま。つ。ぬ。様。が。持。り。肝。要。ト。や。まん。ま。根。で。い。り  
け。れ。ど。も。若。ひ。衣。ホ。リ。合。点。く

二ノ巻 悪ノ外道の流

相合点はおで。小悪テ。外道の心作と。とろく。や。合  
点。して。け。あ。難。と。の。ぐ。れ。強。一。悪。テ。外。道。と。り。あ。く。男

五五

女相性の圖れ。うー。落。小。か。こ。で。抄。ひ。と。持。立。て。り。や  
う。子。者。か。ら。は。許。し。お。そ。れ。て。が。い。れ。ら。ま。せ。ざ。れ  
ど。と。此。方。の。た。と。つ。く。と。ハ。大。き。小。違。ひ。中。一。九。夫。の  
目。よ。い。尺。一。ぬ。く。と。と。し。一。あ。く。は。と。い。ふ。ハ。ど。し。ト。や。と。い  
小。危。角。ハ。み。の。物。の。別。れ。あ。り。ぬ。事。少。て。遠。る。物。の。あ  
く。ま。の。あ。ら。が。あ。く。ま。ト。や。て。小。是。と。い。ふ。ト。い。ふ。ハ  
家。来。と。お。え。一。家。来。と。い。ふ。人。と。大。切。小。す。ん。ば。主。臣。ひ。こ  
と。百。が。あ。り。て。必。し。と。あ。く。ま。の。障。り。が。あ。ひ。ゆ。え。よ。家  
治。で。親。子。と。親。し。み。子。ハ。孝。と。つ。く。せ。ば。親。子。の。間。が  
あ。い。ま。正。し。く。婦。女。な。れ。ば。妻。婦。の。間。が。あ。ん。見。ハ

弟と申す。弟の兄と致へば兄の弟が合朋友なり  
信あるは友達の有るは。弟の職を家業と大  
事小す。凡そ家内の有る合何角とも小。弟がよく勝  
ふよきなり。あす弟のありぬのハ。刈りたま。悪  
とかいて。あまやま。あまやま。あまやま。あまやま。  
ひくはて。今日とむ。あまやま。あまやま。あまやま。  
小おこし。程のあまやま。あまやま。あまやま。あまやま。  
てこそ。うらむ。あまやま。あまやま。あまやま。あまやま。  
や。あまやま。あまやま。あまやま。あまやま。あまやま。  
聞一節。あまやま。あまやま。あまやま。あまやま。あまやま。

何々と  
しふて  
いふ  
て  
あまやま

二

ケの正あ。つ。み。て。随。分。り。ま。う。小。な。り。ぬ。や。小。子。と  
して。親。の。間。小。合。家。来。と。して。は。ま。れ。小。合。事。業。ま  
の。小。合。弟。の。兄。の。小。合。朋友。の。信。と。以。て。友。の。間。は  
合。士。農。工。商。其。職。を。小。お。こ。し。て。は。弟。が。あ。り。て。  
士。の。録。を。す。す。と。石。姓。の。田。地。と。ひ。ろ。け。商。人。の。繁。昌  
。職。人。の。名。を。お。こ。し。て。長。之。繁。栄。の。基。と。ひ。ら  
く。ハ。かん。や。い。石。ト。や。ご。さ。ぬ。是。よ。そ。む。け。ハ。悪。テ。ハ  
兄。い。ま。す。程。の。事。が。有。ま。い。悪。る。間。小。なり。ま。の  
所。馬。先。で。付。死。す。ま。き。弟。が。来。る。弟。違。て。皆。交。陽  
で。あ。る。不。便。や。然。る。ま。き。有。額。法。道。を。小。ま。す。く



繩城掛て引渡し。質屋が城の。れ子とまて。おころ  
さすとい不覚の敗北。此上とや記。きつね。悪者や。  
親の為小。夜食とりすも。取身とわすも。昼夜と  
こころず。ま。う。なき。具子。る。る。遠て。晝夜と  
く。く。取身とわすれての。遊。西。這入。お山。の。孝。行。  
よ。只。と。ま。い。ま。ん。あ。ま。の。お。よ。の。夜。食。と。り。す。れ。目。小。  
之。度。の。音。子。の。お。ろ。う。百。夜。と。子。夜。と。い。け。と。せん  
親。と。後。で。か。つ。て。死。く。と。け。ど。と。う。す。ろ。ぐ。ぬ。せ。も。  
分。と。目。く。小。あ。ら。く。小。せん。と。て。あ。ら。ひ。袋。で。化。  
ても。い。や。の。後。も。い。や。が。け。く。よ。を。これ。と。り。名。

小て。泥。やく。中。に。は。か。つ。つ。て。う。ま。い。が。り。己。も。う。つ。不  
と。官。上。で。何。處。一。往。て。も。泥。とい。か。こ。を。碎。き。中。で。酔。が  
川。上。で。借。浅。の。淵。小。ま。づ。め。バ。昨日。と。お。前。う。う。で。ハ。ハ。や  
いや。と。い。う。女。良。が。お。前。い。やく。達。に。別。の。始。と。初。ら  
ぬ。不。辨。子。の。方。ハ。な。う。つ。る。が。本。る。の。醉。と。や。と。け。ら。ら。が。  
且。那。く。や。う。や。ま。う。た。太。鞍。と。やら。と。ど。ん。を。取。り。て。  
尼。向。と。せ。ず。ノ。イ。ノ。イ。ノ。イ。ト。多。う。て。の。いて。仕。務。何  
時。と。て。も。弟。小。引。交。令。小。留。て。此。世。話。い。く。そ。中。で。父。合  
男。立。と。約。束。要。替。替。の。智。と。立。派。小。い。つ。て。仕。方。を  
く。親。父。志。了。ら。す。く。く。や。ろ。中。の。給。ひ。一。洞。窟。上

人と懐きき底生ハ波一類一と無常と認すこと。  
 今ハ浮世小仕方さく坊主小かろ小も浄經ハかす者。  
 賣ゆも荷ハ侍ヒ持すとやせんかがつまりとてと。  
 接テもよみせず。女一免アしおづり物言似。おぬ太。  
 教も親の撥。末らどるる。寺トや屋ら。代丁種も。  
 同ト事。よそま。や。あひ。おと。あし。く。五尺の。か。小。  
 後み牛毛。一寸立て。早痛。望。蟻の。月。を。  
 崩る。是元ハ。ワ。つ。る。れ。ど。其。透。百。あ。く。痛。ら。し。て。  
 くづ。也。後。親子。主婦。兄弟。朋友。此。人。倫。の。交。り。  
 よ。少。の。遠。百。あ。く。ま。あ。つ。て。ま。り。名。利。欲。を。

欲其外。いろくの。世の。事。や。まつ。く。己。が。好。む。方。を。  
 付。込。で。方。と。家。と。亡。な。さ。す。ま。で。善。事。よ。あ。く。は。何。  
 る。悪。テ。ト。ヤ。ゆ。お。お。あ。く。吾。事。と。励。お。こ。す。ぬ。が。  
 肝。要。ト。ヤ。故。小。人。閑。居。す。ま。バ。ふ。茶。と。み。す。や。千。こ。  
 フ。シ。カ。ン。ニ。入。く。る。天。窓。か。ら。塩。付。く。かり。く。也。雷。松。  
 を。悪。テ。ハ。馬。の。泣。き。役。小。く。こ。ま。か。し。ぬ。ぎ。極。上。黒。  
 吉。の。悪。テ。ハ。色。か。こ。ち。み。き。ゆ。急。小。俗。眼。小。く。ハ。見。  
 しく。何。村。誰。も。見。し。ワ。や。う。と。知。れ。ぬ。程。小。仏。神。と。  
 信。仰。し。沙。方。の。悪。心。の。起。ぬ。よ。山。と。祈。願。め。さ。し。也。  
 一。つ。さ。一。海。の。道。り。か。つ。ひ。ま。ぐ。い。の。ら。ず。と。て。と。神。や。

あらん減ましく人の津のつらり減さ一ありやいさ悪  
たも西の海へさらやこつくる孝行を義と考ひ  
合点り励之給へよ中系ひより

二ノ巻 外道の説

初先悪之の末磨へざらとすんご是く外道の  
講へじやおろしおのる中しよ事トやおのる  
人の定し職分のおれりトや定し職分トハ主と  
主の毎りの職分を末ハ忠義の職分親ハ慈愛よ  
子ハ孝の職分まハ正しく婦ハ貞吹の職分兄を  
愛し弟ハ敬し職分朋友ハ信の職分士ハ武戦

励む百姓ハ農耕し商人ハ高賣し職人ハ細工し  
者ハ又倫と全教し医者ハ病家よ実心厚彦者を  
彦よ上をす是人トらの職分少く天道様のを  
公也慈作つとめのをてハ樂こりてハ勤まら祿バ  
仍余カある村ハ文とと學び連能とと一月花雪  
と詠め我分相應の樂こそ小町人百姓下  
ハ子樂小虫トあく永職分と口き少いておろし  
池るぞもうるがれ雲のあられ月はいとわびし  
と去るよ少も白粉嫁眉の交といざあひ往弄の  
奏はハうてうてんく天と誓文ハあしひとうてま

雪尺の舎とみづけては。猿ふくる怪小。水とふり。玉  
子酒よ。多のうさよとわす。及内の者の羽叩して。  
辛まぐらと。かたりんず。やこーき。花尺の幕の中。岩  
倉寺の。行場のぬく。老うと。若きと。狂ひあひて。心  
をなく。酒ま。毛氈とひし。大脱よ。八席と。活し。傍  
若を人。落花。微塵の。やれまひ。花小。風と。や月小。むと  
雲助達の。山舎とぞ。うさぐられ。舟。花尺の。涼しき。小糸  
トて。花尺の。くつぎと。わす。花尺の。おと。花尺よ。  
尺入りて。花尺の。つくおと。知らず。こひ。茶小。ふけ。さく  
ハ内記の。花尺。茶と。知らず。輪の。あぐる。小。花尺。と

ス一テ  
ニテ  
イテヌ  
オト十  
リ  
コトハ  
オニム  
オテ  
オトム  
オト  
オト  
オト  
オト  
オト  
オト  
オト

口十。花尺の。あぐる。と。知らず。連俳狂奇よ。口の。ま  
ると。おふし。内。の。かひ。の。まら。ぬ。俗。と。わす。いと。す。  
盤。将。よ。こ。つ。く。歩。づ。ま。や。あ。ら。と。知。す。揚。う。の。射。あ  
と。不。が。差。中。と。か。や。て。渡。せ。し。若。づ。て。物。を。似。の。名。人。く  
と。上。と。る。程。人。小。下。か。ら。行。く。ね。バ。ま。ら。ん。二。味。線。上。り  
の。極。官。小。か。つ。と。不。く。人。品。が。お。ち。を。鞍。の。后。よ。く。鞍  
笛。の。拍。子。よ。り。小。お。ち。か。ら。で。棚。卸。の。拍。子。あ。し。き。と。わ。す  
れ。舞。と。り。や。く。若。侍。仕。舞。狂。の。花。音。ち。小。今。浪。と  
つ。や。せ。し。果。人。の。右。席。冠。者。と。る。侍。作。文。章。介。  
か。く。く。と。る。中。庸。と。失。う。い。い。と。さ。る。所。家。の。や。り。と。魚

夜行記 卷三

早業  
人  
五月  
卯  
子  
三  
三

術人と苦小せぬ早業と。益持との持小あやしく  
ハ。家業ととも小。とつてけり。此外一く。いさうさ  
と。口が志んどひ。つまり。天今の家業の。外  
道此外道よ。けより。けりて。家業と。いひ。男と  
亡す者。教と。知らば。故人の。日外。己が。好き。方。家  
得。手。小。意。して。付。入。ると。也。味。小。油。取。の。さ。ぬ。事。ト  
ヤ。先。主。の。も。も。付。込。外。道。と。大。略。か。ど。て。又。も。も。も。も  
ある人。少。く。上。り。外。道。の。さ。ひ。小。味。線。外。及。  
同の。人。小。似。せ。外。道。口。守。人。と。三。外。外。道。務。  
幸。好。ま。ぬ。術。外。道。の。氣。量。の。何。の。剛。者。外。道。小。知

つる  
外

恵の。あ。る。の。小。律。義。外。道。正。直。者。よ。偏。屈。外。道。  
奢。者。小。い。ん。が。外。道。各。ひ。や。め。ハ。悪。ま。れ。外。道。  
何。く。者。小。い。氣。と。外。道。女。の。か。し。こ。小。い。さ。り。で。外。道。  
あ。く。丁。稚。小。さ。り。ど。ん。外。道。内。れ。丁。稚。又。床。眠。り。外  
及。子。代。息。子。小。世。外。道。一。や。り。あ。る。の。小。い。い。ん  
外。及。上。好。ま。茶。の。湯。外。及。い。や。い。者。又。飲。食。外  
道。を。好。む。小。女。外。道。飲。の。湯。ひ。よ。茶。市。外。及。共。一  
あ。る。目。小。見。入。ら。れ。太。長。外。道。よ。め。ら。ら。る。外。及。さ  
は。ま。外。及。多。く。路。く。の。天。今。の。家。業。又。お。こ。り。  
あ。く。ま。が。あ。れ。ば。外。道。が。見。少。き。つ。い。小。ハ。外。道。と。い。ふ。草

到る人  
御前  
人  
おくむ  
人  
コレ  
ヤ  
ア

の。才れ。正。何。の。清。つ。く。ま。ま。よ。が。世。小。海。山。  
才。と。脩。子。学。同。下。さ。く。は。様。が。つ。る。ひ。と。才。と。さ。す。  
す。づ。く。諸。瘥。と。皆。と。せ。ん。く。の。得。も。小。愈。し。好。  
小。愈。し。て。是。と。あ。い。心。と。助。け。才。と。治。す。の。道。を。さ。  
らん。小。此。方。の。と。や。ま。の。あ。い。き。か。ど。して。お。の。ろ。よ。し。  
て。志。ま。い。瘥。と。科。と。つ。け。る。く。の。諸。瘥。の。し。め。れ。悪。テ  
外。道。我。あ。で。と。い。く。り。あ。る。事。小。い。る。の。が。悪。テ。ト  
や。や。ひ。ろ。く。く。ん。る。が。佛。と。や。や。と。収。す。の。が。外。道。ト  
や。や。悪。人。で。ら。ま。る。が。神。と。や。や。と。収。ホ。グ。と。あ。目。で  
は。い。ぬ。神。の。眼。と。あ。い。ひ。ら。き。悪。テ。外。道。と。足。を。踏。へ

悪。テ。外。道。哉。足。り。け。き。と。し。や。し。と。を。ハ。我。腹。中  
と。得。中。見。た。へ。着。ひ。居。先。ハ。一。位。あ。げ。れ

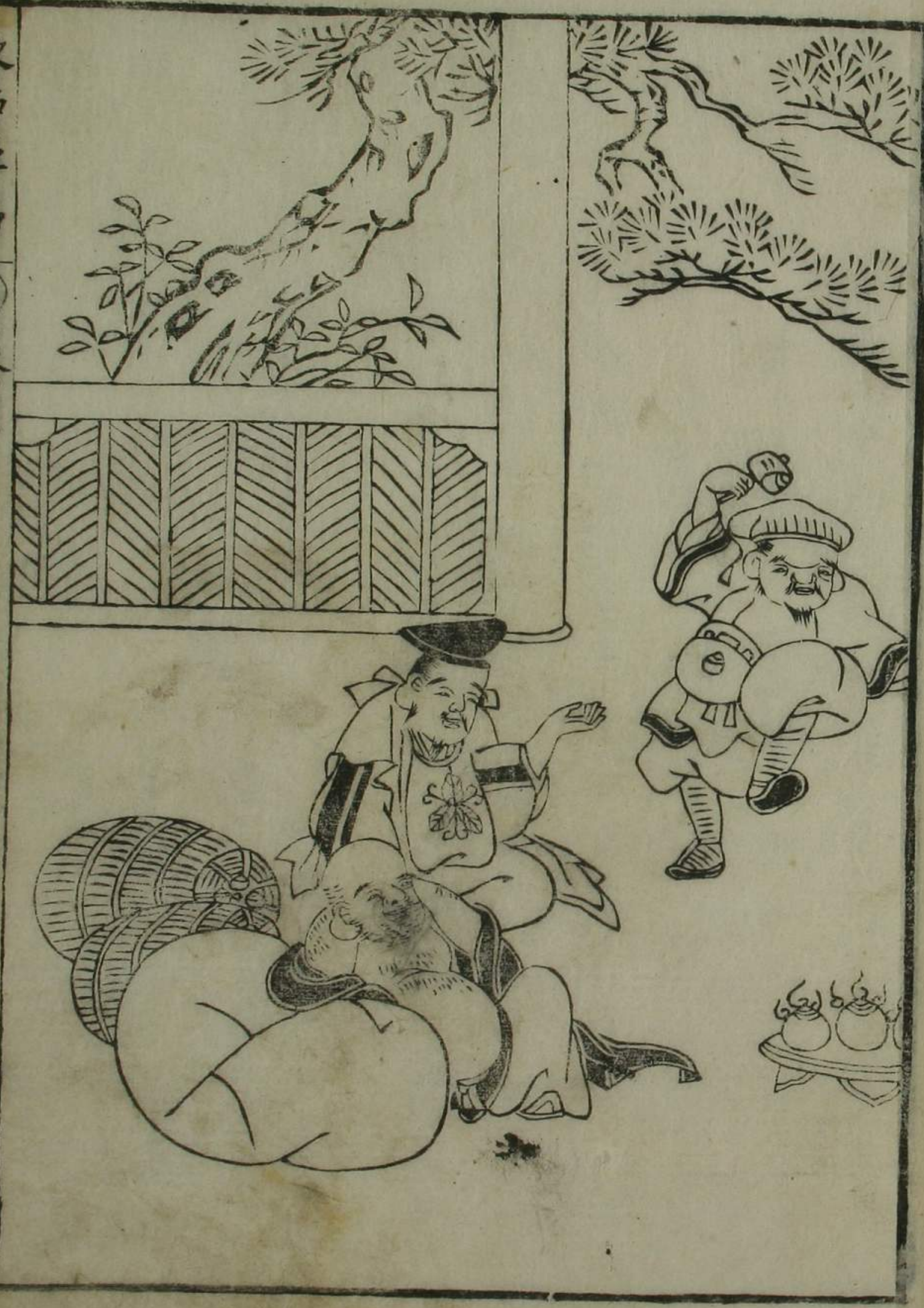
三ノ巻七福神の況

扱。く。大。き。小。長。び。ま。つ。れ。ど。と。悪。テ。外。道。と。を。の  
小。し。て。志。ま。よ。と。と。や。と。心。ぐ。ア。と。や。目。か。し。人。今。我  
の。咄。れ。る。の。小。は。床。ま。何。系。掛。物。の。徐。乃。七。福。神。の。  
才。と。志。ま。志。よ。扱。く。此。七。福。神。ハ。是。等。と。あ。り  
才。職。分。と。太。才。小。し。世。界。和。合。の。姿。と。あ。ハ。い。と。  
物。で。あ。ら。う。い。を。れ。と。い。く。も。や。り。小。鳥。帽。子。か。き  
衣。と。あ。る。夫。と。い。ふ。雲。上。ま。人。と。あ。れ。バ。澄。甲。と。あ。る。

後。右。巻。七。三。三

毘沙門といふ武家とあり。布袋といふ。お家といふ。まは吉祥天女とあり。老人とあり。骨殖とあれば。長とあり。此七つゆく。兼用あわせ。大膽世界の人は。是小とあり。兼あはれ。まひ。そして何と。小と。和合して。つい小。喧嘩の件。見えず。何れ小亦。此様といつて。よく。和合し。やと。おと。へ。格く不足。が。ひ。ゆ。小世界。和合と。や。何故。小亦。不足。が。カ。ひ。ぞと。おと。へ。バ。七福神と。小。格く。の。う。け。は。る。職。お。れ。持。物。と。く。さ。さ。げ。ふ。ご。さ。り。ゆ。え。と。や。大。王。ハ。植。と。袋。の。職。を。持。物。と。く。さ。さ。げ。ふ。夫。ハ。鋼。と。釣

竿の職を持物。布袋は毘沙門ハ鈴と宝塔。外ど。さ。い。も。格く。の。持。物。職。を。と。く。さ。さ。げ。ふ。ぢ。つ。と。持。て。ご。さ。さ。げ。ふ。皆。福。神。と。や。神。佛。で。も。皆。格く。の。職。を。持。物。あ。り。て。ま。あ。り。て。況。や。家。く。づ。あ。そ。ん。で。格く。ハ。す。ま。ぬ。答。と。や。親。ハ。子。と。愛。す。る。職。を。慈。と。い。ふ。持。物。と。く。さ。さ。げ。ふ。子。ハ。孝。れ。持。物。と。い。ふ。主。ハ。主。凡。職。を。神。の。持。物。家。来。ハ。忠。の。持。物。妻。婦。ハ。別。の。職。を。持。物。兄。弟。ハ。忠。教。の。職。を。持。物。朋。友。ハ。信。の。職。を。持。物。士。農。工。商。皆。と。れ。く。の。が。職。を。持。物。と。く。さ。さ。げ。ふ。お。こ。こ。ろ。ハ。バ。片。時。空。腹。め。と。せ。ば。よ。世。界。和。合。し。て。不。足。を。く。ふ。ら。く。せ。し。て。



涼福の年  
 多のたを  
 永鐵之  
 中漢





弄樂ふせとらさるる。然守ハ睫で。タツタは天今の。  
 職分持物と。さきさぬゆゑ小。福人さあり。此持物成。  
 タツタ一すし。とやさなし。持ぬゆゑ小。笑之とらる。  
 故小君子ハ少一きと。おそれ。つゝむとやらよ。扱又  
 海神の形好子ものハ。何こぢやとらば。かくれ兼かき  
 笠打出の小捷トヤ。此かくれもの笠ハ。是ると能ガ。  
 又一ぬぎい。小捷ハ。ねぐひ。やむものぞ。おる也。聞ハ。ニッ  
 の室ハ。おろるひぞ。落ハ。是之の。親より文し。は  
 能トヤ。てふ。あふといふ。通也。の。天今の。職分ハ。分ハ。  
 精カ。して。そとく。内ハ。我。安。安。ガ。とり。す。き。子。是。の。

三んど。お。不。急。ず。只。勤。斗。ゆ。く。心。と。必。を。覺。へ  
 知らず。此。免。一。初。ぬ。ぐ。か。くれ。義。の。くれ。笠。也。此  
 か。くれ。義。か。く。ま。笠。子。下。ぐ。主。小。お。ち。の。小。捷。と。親  
 よ。向。一。者。と。お。せ。し。主。小。向。つ。ば。忠。義。と。お。ぎ。し。ま  
 小。欠。と。お。お。し。見。え。人。教。と。打。お。し。朋。友。ハ。信。と  
 お。お。し。家。業。ハ。信。と。お。し。目。と。傷。り。せ。バ。同。利。也。  
 銭。口。と。さ。ら。く。せ。バ。口。沙。打。お。し。多。成。と。さ。ら。く。せ。バ。お  
 沙。打。お。し。肩。と。さ。ら。く。せ。バ。右。持。の。沙。必。脚。さ。く。ふ  
 み。ハ。足。つ。沙。身。と。鼻。と。ど。こ。と。か。も。後。令。の。も  
 ぬ。下。さ。し。け。結。構。子。室。と。ら。ん。く。持。さ。ぐ。ら。そ。れ。と。知。ら

ず。外物のぬよ。いど。うど。かす。と。い。あ。ろ。う。を。ま。す。と。や。  
あ。き。り。さ。り。さ。り。さ。り。さ。り。あ。れ。バ。一。矢。あ。ま。と。や。一。念。こ。ヨ。ツ  
ト。あ。や。ま。ら。く。此。天。命。の。職。は。違。一。言。ひ。守。ら。か。く  
れ。衣。を。立。悪。う。と。お。か。の。小。槌。も。や。耳。へ。さ。ま。さ。れ。  
鼻。ハ。香。ま。め。ぐ。月。ハ。色。小。々。と。今。根。枝。室。衣。衣。法。  
道具。と。も。目。鼻。耳。より。打。ぎ。し。て。の。け。口。へ。入。食。と。こ  
し。み。も。ハ。片。中。風。と。ま。り。足。ハ。ろ。く。な。正。往。ず。し。て。  
田地。と。山。と。川。と。舟。も。牛。馬。と。口。も。足。と。耳。と。お。か。し  
て。仕。舞。か。く。れ。この。か。ま。ま。望。れ。移。り。小。や。や。れ。等。ま。  
菰。か。より。貧。乏。之。神。の。志。は。小。か。る。ぞ。世。の。中。ハ。ば。や

と。や。い。ろ。く。さ。ほ。ぐ。さ。れ。ど。つ。ま。る。西。ハ。敵。一。心。ふ。く。  
身。を。バ。福。と。お。出。の。小。槌。小。や。と。貧。乏。と。お。か。  
の。小。槌。よ。し。や。と。ま。り。世。界。と。や。若。し。鹿。と。ら。ら  
と。望。ま。ら。ぬ。ぞ。誰。し。と。福。と。や。め。ど。も。實。小。好。じ。  
者。ハ。さ。ひ。て。小。實。ま。ま。今。も。色。者。よ。さ。ら。る。事  
ト。や。古。戦。國。の。物。ハ。我。ホ。が。よ。う。所。人。ハ。あ。ら。ら。へ。志  
の。び。ら。ら。ら。か。く。れ。父。と。う。さ。れ。子。小。さ。な。れ。か。さ  
む。る。さ。一。ほ。り。さ。り。さ。り。さ。り。さ。り。伏。剛。堂。の。新。う。あ  
ひ。今。日。い。ろ。く。や。活。の。び。く。何。年。明。白。も。助。かり  
し。や。少。思。つ。斗。が。お。か。い。ま。く。外。の。や。ハ。一。ツ。も。さ。し。

三卷  
不呂ハ  
家ヲ  
モモ  
の尻  
シ  
ツ  
コ  
ト

物ものも小こ家いえ人ひとハ有あ難がたき。汚よご濁た世よ小こ生うれ。釘くわ戟げきのおそ  
れきく。雨あめ落およぬれず。去い后ご一いつくとせば此この上うとか  
き。初はつ徳とくくう室むろとけれん付つきく。己おのがあ愚ぐ痴ちとを不ふ  
足あと起一いつ。貧ひんとす福ふくき。昔むかしと求るとハ。榮えい曜やう  
あまつく。魚いちく物もの好この。一いつ切きのふきハ皆みな有あ難がたるる  
から出でると一いつ比ひてふ足あの起るを付つハ。あら勿な体たいか  
や。福ふく神しん。足あと求るとハ。つま今いまとお速すみも足成なり。  
やめさぐらふもぞ。足あと求るとハ。知しりや。今いま銀ぎんいらば力を  
いらず。辛からどとせず小こ。長なが者もの小こなまるる。我われハ前方かた。  
東とう國こく一いつ人ひと連れん小こて。社しゃき一時とき余あまの難義ぎ小こ不ふ

どここやらあ免まねず。三さん人ひと小こ甚た空くう腹はら小こカカママ足あハあつつ  
つつ。かハ魚いちく腹はら道みちハせるぐ。木きの実さつなく。こ。  
里りはねバ。人ひと家いえをけまバとやせん。くやと。魚いちくとお  
るで。三さん人ひと小こ顔かほ人ひと合あはれ息いき。つぎ一いつ斗たうさり。連れんの  
を人と思ひご。水みづの溜りの。利り公こう小こと。母はは者ものが氣  
とつけ。くれらま一。田い標ひょうの干とと。死しかし。何なに成なり是これ  
伐く小こ入い。志しとくて。カ草くさ。やりく三里り向むかへ一膳ぜん  
食くの行旅りょと見て。而雨あめの実苗なえとつ。心こころ地ちとまり。  
勇い進しんんぐ走しマいて。けと菜也や。みんとしいしぬ。  
冷ひ食くでも。燒や食くでも。少すく。ゆひのする。食くでも。

夜活在名 三卷

どひひくく。くろくまひと。急いせぐて。冷食一膳。其じまる。何小磁ん物とす。扱式膳目ハ。菜みし小。どろといけず。一寸志し物でと。扱て。みんが家ホグ。かつ一人でも。食斗は。と。女一服。とあるや。とや。と。扱三膳目ハ。まじけ。と。末やんせぬ。ひまのり。半トや。其小しの昆布巻。と。四膳目ハ。此ありハ。海邊一。近。まじ。みんがり。あ。あ。あ。物トや。小。ふ。一。か。みんと六。湯。糸。の。ワ。ひ。あ。り。ト。や。ひ。う。五。膳。目。小。ハ。どん。み。事。し。今。を。里。向。一。川。ハ。ん。糸。屋。グ。あ。る。

小。少。い。六。膳。目。ハ。七。三。湯。此。ア。扱。と。や。け。一。から。ぬ。かん。が。田。舎。ト。や。と。く。み。ん。ま。り。を。是。見。さ。う。じ。や。服。ぐ。ふ。れ。て。モ。ウ。と。ん。を。喰。一。ぬ。せ。乃。理。ト。や。六。孟。月。み。事。知。り。ず。脛。く。之。良。小。実。が。ら。つ。く。初。め。扱。を。と。ん。と。り。す。れ。此。糸。屋。の。内。扱。く。命。と。つ。ま。ぎ。一。と。知。ず。暑。け。り。と。り。や。扱。り。す。る。や。服。ぐ。く。り。や。ふ。足。が。お。ろ。ろ。り。若。い。衆。是。と。て。合。点。一。給。一。と。か。く。不。足。ハ。皆。衆。曜。ト。や。田。螺。と。ま。が。ん。ぶ。扱。を。か。時。ハ。田。螺。の。味。さ。ひ。在。露。の。ぬ。く。何。も。と。不。足。が。あ。る。ハ。こ。と。を。て。孟。喰。一。バ。孟。盃。孟。喰。一。バ。盃。盃。盃。盃。盃。

後活荘五の巻三

だけ。腹がふるまをや。うてやどけつ。石をばけ  
トや。いんが石をばけ構る。かどトやて小。まひとら。  
ひきて聞い。まをよ。火をまを。人杯。甚の難儀  
ふて。大俵。石をま。い。か。小。津。紙。小。か。合  
あて。中。く。ま。の。ふ。字。あ。で。ま。く。只。う。く。や。  
一向。む。ち。や。く。ち。や。わ。づ。か。の。半。で。焼。の。ころ。隣。の  
家。へ。足。を。舞。よ。い。て。扱。月。あ。や。水。運。の。よ。ん。と。悦  
い。ば。私。ま。う。先。ま。ん。の。是。が。運。の。よ。ん。と。ん。や。九。焼  
同。前。ト。や。運。の。よ。ん。と。い。ま。方。あ。が。寺。ト。や。廿。三。十。所  
と。あ。ひ。の。い。ろ。も。圓。が。な。れ。と。思。の。外。お。や。ら。じ。

不足とよ。あ。勿。論。な。や。不足とよ。人。ト。や。本。ま  
小。や。け。い。あ。あ。の。不足とよ。い。や。寺。の。な。ろ。ま。い。ま。お。り  
ど。と。能。く。お。と。へ。バ。ダ。ふ。し。も。隣。の。寺。の。ま。ま。は。む。く。難  
後。不足とよ。ま。う。ら。あ。る。べき。よ。同。ト。焼。し。町。内。中。て。お。り  
ぐ。と。十。新。斗。石。の。あ。る。此。家。の。直。下。に。結。構。る。と。く。  
焼。隣。の。主。の。り。ハ。又。い。や。是。の。言。あ。く。あ。い。火。の。元。を。  
大。寺。よ。す。ん。き。み。ト。や。主。斗。の。町。内。中。と。さ。る。が。し  
か。い。ま。く。く。ま。く。中。物。好。で。は。焼。く。様。小。後。立。先。夕。ア。  
向。見。ず。小。ど。う。た。道。を。が。中。一。日。や。廿。日。や。三。日。で。午  
の。様。小。是。が。な。ら。う。ま。く。中。四。五。日。先。小。す。し。ら。じ

し宗。いまくしひと。不足く。是ハ一向。おろろ  
斬られども。了簡つけて。足も。所内の寺なれども  
ハ不足。い。うらみれ。又。所。ある者。ハ。滅  
ハ。有難。り。き。今。の家。ハ。又。足  
大。き。五。あつ。入。花。と。びつ。り。持。お  
つ。よ。の。悪。口。や。是。ハ。言。語。ハ。絶。せ。馬。鹿。な。れ  
し。も。志。ん。が。強。く。簡。つ。け。り。足。れ。ハ。隣。所。を。不  
の。寺。さ。う。び。つ。く。と。及。理。さ。ん。然。れ。ハ  
廿。所。五。町。を。き。西。の。者。ハ。と。ん。や。怪。が。なく。さ。づ。く  
げ。さ。く。う。ら。い。さ。わ。ぐ。の。せ。い。と。い。う。ね。が。誠。又。目。が

度。高。大。の。取。ど。ガ。キ。ん。き。答。さ。る。小。ハ。勝。不。信。又。目。と  
こ。す。や。ろ。く。び。ま。じ。や。小。あ。と。ぬ。ひ。て。方。角。ハ。と。ん。ト  
そ。う。五。仕。舞。と。此。つ。め。う。い。小。足。舞。ハ。行。ふ。や。さ。り  
ま。し。と。か。く。中。の。火。事。ハ。近。下。が。ふ。ま。ど。と。や  
と。あ。い。不。足。悪。く。勿。作。あ。い。寺。な。れ。ども。室。と。思  
ハ。不。足。の。お。ろ。ろ。月。ま。な。す。ト。や。ま。せ。な。れ。ハ。又。の  
難。小。あ。い。く。有。難。さ。る。の。寺。ト。や。ま。い。の。難  
又。ハ。あ。よ。て。一。向。足。ハ。か。や。せ。ぬ。く。家。ハ。掃。か。  
小。人。ハ。結。構。を。正。代。小。生。ま。あ。ら。昔。と。違。ひ。扱。い  
世。智。な。せ。小。う。つ。て。水。と。の。あ。る。寺。ト。や。ま。い。お。と。不

教書正統の巻目

足といふあり。是れも同く。相恋し後せすり  
 やこそ。此松子。上より。み是と。みれ。誠は水と。音り  
 ず。死んで。は。是といひ。世は。亦。此。外。は。さ。は。く。  
 不。定。あ。せ。い。て。ま。づ。主。親。兄。弟。一。家。を。お。世。  
 信。ふ。か。る。人。悲。あ。る。人。よ。う。返。て。不。定。が。お。る。こ。是。と  
 目。か。し。ま。ぜ。や。さ。バ。あ。の。地。人。を。付。で。い。人。小。い。不  
 定。とい。し。こ。め。し。ま。し。か。程。目。か。度。ゆ。ふ。ま。れ。は。随  
 分。く。か。が。身。よ。い。つ。こ。う。い。ひ。且。却。が。い。つ。バ。家。を。ま。し。ま  
 ら。つ。く。主。人。よ。う。ま。ま。つ。い。つ。バ。事。と。し。ま。つ。く。夫。り  
 不。定。親。が。つ。ば。家。子。も。し。ま。つ。く。親。よ。う。ま。ま。兄。が。い

つ。バ。弟。と。お。つ。く。兄。小。い。是。け。外。人。よ。及。が。し。て。  
 家。内。一。統。よ。皆。く。み。是。と。い。つ。時。ハ。家。ハ。同。く。人。  
 の。よ。一。治。也。身。ハ。是。無。事。と。し。川。亦。小。女。病。し。  
 未。後。家。と。な。れ。よ。米。の。名。物。と。て。世。界。中。と。往。居。  
 二。仕。似。せ。梳。を。ら。さ。ぐ。ん。バ。喰。分。小。こ。ま。ひ。か。く。ね  
 一。り。起。り。月。の。傍。り。て。世。小。亦。と。ま。ま。家。  
 替。也。此。此。安。楽。の。境。界。小。い。さ。ん。事。成。  
 形。よ。人。ハ。物。々。小。此。不。定。の。字。と。情。か。し。て。唱。  
 ら。る。屋。し。と。ま。一。ら。る。し。故。小。福。の。神。の。少。年。事。  
 不。定。と。ま。あ。る。家。お。と。ろ。く。中。の。ま。ま。を。つ。け。ぬ。り



茶漬  
おろし  
変所  
あく





負之神の。即ちふ  
ふ。是と。と。なる家。家。や。り。灰。音。為。ふ。あ。と。き。あ。う。ん  
此。二。子。の。神。詠。と。着。ひ。尻。と。く。く。教。味。一  
結。

四巻 飢饉 亦 諸を あり 以 況

扱。く。平。松。方。や。我。亦。は。合。な。う。も。の。ト。や。有。強。沙  
代。よ。生。れ。結。梅。を。主。人。小。幸。一。片。時。さ。ひ  
め。せ。げ。ひ。ど。り。め。せ。ず。此。松。は。ゆ。く。く。く。え。ん。く。空。  
吐。し。て。茶。の。壺。さ。つ。と。知。ぬ。く。ら。ひ。ト。や。が。是  
と。は。さ。て。何。の。時。き。ん。ぐ。あ。う。も。知。ぬ。は。を。年

茶の。あ。ひ。よ。つ。け。く。い。や。と。く。名。飢。饉。の。用。に  
て。五。穀。ハ。勿。論。を。牧。の。茶。の。葉。と。糸。拵。小。せ。ま  
い。ぞ。或。老。人。家。内。の。子。弟。ま。ら。糸。ぐ。い。も。さ。る  
よ。ん。食。つ。ぶ。ぐ。庭。の。中。に。う。ら。り。け。く。よ。茶。あ。ぐ。ち。ら  
て。ち。る。と。ん。ば。あ。ひ。ひ。り。ひ。て。多。ふ。な。り。と。も。あ。い  
わ。べ。い。お。ろ。そ。う。小。尺。拵。て。人。小。幸。一。つ。り。ず。人  
が。五。穀。と。海。山。小。幸。を。越。て。毎。ち。拵。よ。ら。れ。バ。飢  
饉。年。小。幸。を。身。あ。ち。り。や。毎。ち。一。つ。り。さ。れ。ら。ぞ。親。切  
ト。や。此。飢。饉。の。心得。の。事。ハ。家。つ。え。と。い。ハ。か。り  
本。小。幸。一。つ。り。お。て。ご。ざ。ら。此。本。と。見。て。名。く

月公一。五穀とほ山無抹よ。せぬぐよいてよ。五穀  
斗とほ山よりすりや。かぎらぬ糸がほ山無抹  
よみまば。皆飢饉よあよどま。人が無抹よ。家業  
が。ほ山よりすりや。あよどま。つらつらして。西海飢饉よあ  
い。親がほ山無抹よ。あれば。勤者よ。人よ。ら。胃  
姑が。無抹よ。まが。ほ山よりすりや。ま。快き。人。念。報  
が。無抹よ。山よりすりや。を負。之。き。人。牙。の。舌。け。が。無  
抹よ。酒。色。が。ほ山よりすりや。病。氣。き。人。此。外。飢饉  
さ。ゆ。ぐ。あれ。ど。我。ふ。が。よ。あ。か。小。人。へ。是。と。知。ず。ね  
あ。よ。ど。一。け。が。百。倍。に。思。ひ。居。き。あ。れ。ど。いつ

す。ぐ。と。富。貴。を。思。ひ。若。う。た。れ。ど。いつ。ま。ぐ。と。若。し  
と。思。ひ。是。ち。あ。る。ま。ば。いつ。ぐ。と。達。者。あ。り。と。思。ひ。  
豊。年。あ。れ。ば。いつ。と。月。夜。よ。米。の。食。と。思。ひ。心。の。油  
ひ。か。ら。女。の。高。下。小。む。つ。つ。り。し。五。拾。糸。の。糸。が。  
七。十。糸。小。む。ら。と。世。界。中。で。家。づ。つ。と。一。人。が。飢。饉。よ  
あ。ひ。し。や。あ。思。う。く。う。ら。た。つ。常。の。心。と。う。し。ま。よ  
こそ。お。ろ。う。あ。ま。あ。ま。て。は。日。輪。ま。忍。蝕。の。ま。ん  
何。や。月。あ。と。雲。の。ま。ん。あ。を。下。人。の。た。よ。さ。え。異  
端。と。い。つ。ま。ん。ら。で。佛。小。外。道。の。ま。ん。あ。を。出  
ま。べ。死。す。の。ま。ん。あ。を。満。ま。ば。か。く。る。の。ま。ん。あ。を。

楽におまごつ又々るしもの。きんらや。収びあまごぎ。  
かきしんれ。きんらや。家々氣のきんらや。國より  
城のきんらや。人よ病のきんらや。及つらまごら。  
人といひまきんらや。富きよ。質のきんらや。此  
法々の飢饉と知す。一切の望とやめ。十分れ。致  
伐於。去き慮とめぐら。しものをき。亦の足事と  
知す。常をよみで。くら一終  
四ノ卷 収の外世界。尔樂をかま。流大辰  
叔世の中と。つづく。及ま。蟻のどく。少あつまや。  
東西のそぎ。南水。と。はき。い。やま

らや。老るらり。若きらや。色好じらや。酒好むら  
で。風雅好あり。藝好あり。格好あり。け好  
り。名聞好あり。緯羅好あり。種々格好。好  
や。ま。い。あまごぎ。つまる。正の只一つの悦ん  
と。求めく。り。る。是。お。ま。ど。り。狂。ひ。身。ぶ  
る。物。ま。つ。似。上。ら。り。か。つ。ら。と。つ。ま。る。不。の。我。が。よ。ら。び。  
人。と。も。よ。ら。り。こ。ご。せん。との。事。ト。や。各。が。う。の。柿。の  
屋。の。儀。く。し。や。と。冷。の。も。あ。く。小。く。ま。だ。一。寸。の。物  
ん。遊。ま。あ。も。し。ゆ。ら。ず。世。界。へ。生。れ。し。何。が。か。ひ。ト。や  
と。人。ま。の。心。を。こ。一。し。て。何。れ。す。く。ら。く。く。く。す。の

後方在名 〇六日

夜は正法 〇卷四

七

毛。つまりる。亦ハ。金とのぞして。我が懐び又子孫と懐  
 ととのの事トヤ。大切命と。とりよる事ト。かま  
 はず。夜とろく小粒。それと見て。へくつ。く。一。風  
 と。聞て。い。案と痛む。相場。事と。つまりる。亦ハ。やま  
 うれ。や。思の通。ア。ふ。け。こ。とい。よ。て。懐ぶ。事。の。事。ト  
 や。親。り。受。一。か。こ。ぶ。き。ず。の。け。く。も。痛。む。と  
 口。す。き。て。こ。き。や。ひ。つ。ら。や。ん。汗。水。か。ら。て。ま。ん。と  
 一。こ。ぶ。こ。ぶ。ど。う。ト。や。と。つ。で。縁。こ。さ。い。わ。て。懐。が  
 一。ぐ。う。め。ト。や。親。の。歌。ま。の。怒。と。か。つ。や。え。ん。ん。友  
 と。あ。い。出。雨。露。う。ぬ。ん。人。目。と。い。い。よ。か。く。一

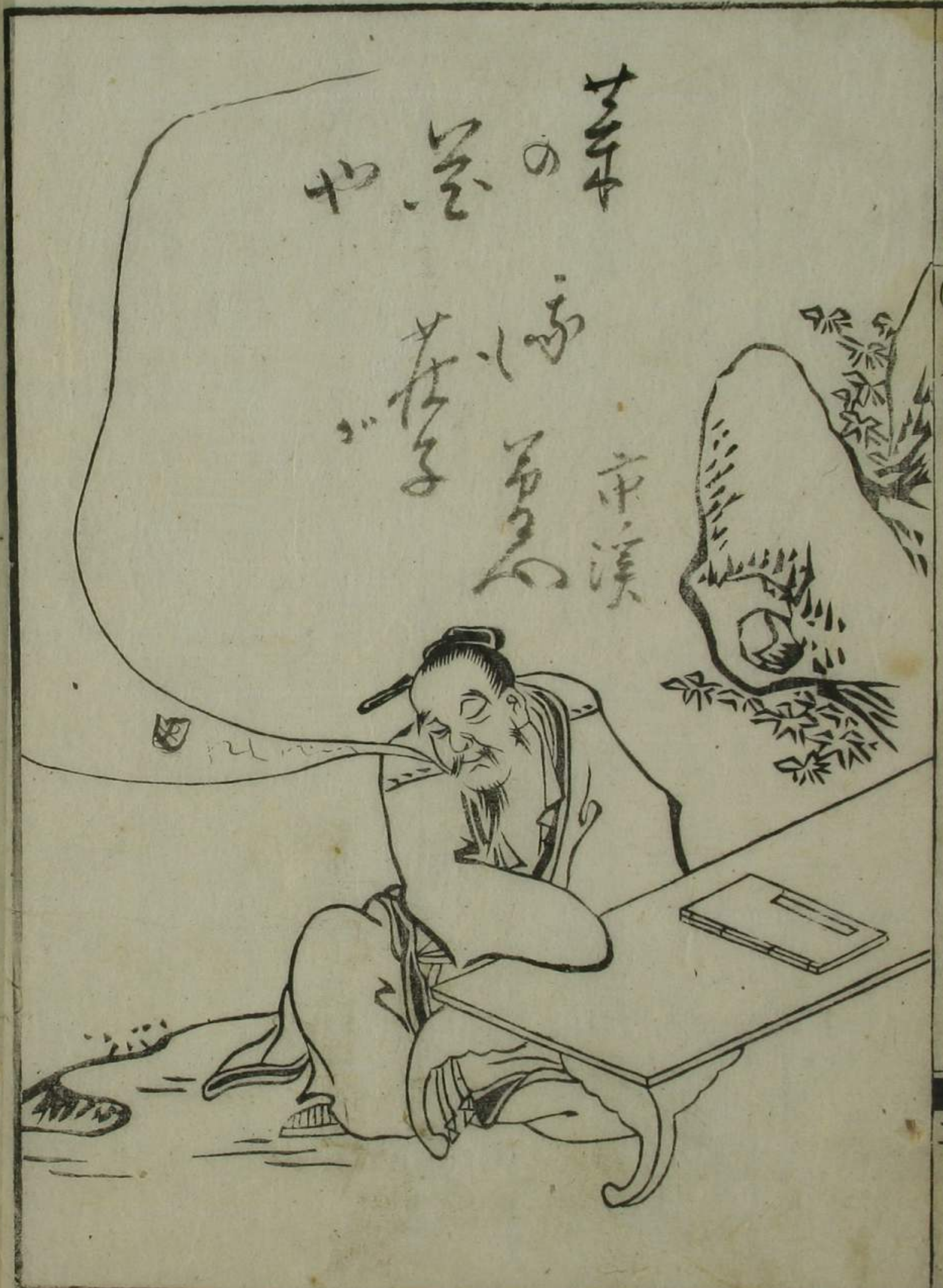
妻。也。只。懐。が。と。その。氣。苦。勞。ト。や。聖。賢。佛。の。歌。行  
 苦。行。の。け。の。行。と。し。捨。れ。と。世。界。の。人。と。吾。人。小。一。  
 樂。と。何。と。一。懐。ぶ。ま。く。自。ら。懐。び。の。ら。ん。と。め。ト。や。  
 老。若。男。女。貴。賤。富。貴。生。年。け。る。老。の。只。此。懐。ぶ。不  
 一。ハ。何。と。世。界。小。列。小。た。の。一。み。お。し。け。懐。び  
 一。や。お。小。懐。ぶ。懐。ぶ。あ。い。事。が。合。点。が。い。さ。お。ん。と。り。え  
 一。れ。り。字。を。とり。よ。り。捨。つ。と。の。捨。つ。あ。ん。ど。り。我  
 一。く。ぶ。小。き。す。す。つ。け。り。親。よ。か。く。一。こ。そ。く。や  
 一。く。不。由。造。作。を。懐。と。懐。す。と。世。身。此。後。無。造  
 一。作。子。自。己。の。宝。花。と。お。一。用。る。物。皆。家。よ。ほ。る。

必小か一りして。秘あまは。是よや。大なる。樂あか  
きの。悦と。悦づ。ま。と。悦び。親と。悦び。事と。悦び。  
子と。悦び。家。事と。悦び。友と。悦び。世界の人と。  
皆。よろら。び。神と。悦び。佛と。悦び。聖人と。悦び。  
人。悦び。して。天の。あ。ま。る。樂。ま。り。是。と。仏。者。で。  
極。楽。と。ま。そ。夕。顔。の。子。ま。り。百。ま。り。彌。福。吉。凶。殊。  
壽。を。身。家。と。ま。ま。く。つ。る。一。解。の。ふ。り。少。  
さ。と。ぬ。智。恵。で。新。白。の。笑。け。は。志。存。む。と。い。力。理。  
張。知。れ。只。一。日。の。榮。と。死。ぞ。思。な。ま。盧。舎。伽。又。  
十。の。執。事。と。覺。て。ま。る。ふ。く。東。方。朔。と。今。ま。

不老。浦。葛。太。郎。と。故。人。と。ま。で。陶。朱。倚。杖。が。寫。と。  
尽。久。米。の。仙。人。と。神。變。ふ。側。と。脛。の。白。き。糸。と。  
う。ま。り。ひ。孔。明。が。智。と。常。と。ま。ま。と。ま。り。事。な。  
く。岳。知。が。勇。と。漢。の。仁。と。ま。り。へ。莊。子。の。悟。り。と。一。箇。  
の。愛。悦。と。愛。り。ま。る。と。夢。笑。つ。ま。と。愛。泣。と。  
夢。金。持。と。愛。法。か。と。愛。貴。ひ。と。愛。い。や。き。  
と。愛。龍。龜。と。愛。月。と。愛。長。命。と。愛。短。命。と。愛。  
と。愛。と。愛。わ。ぶ。ま。り。ひ。と。愛。長。太。が。う。ま。り。と。拈。眼。る。  
と。愛。家。ホ。う。う。ま。り。と。性。と。愛。各。々。方。が。ま。と。愛。  
聞。く。い。か。が。と。中。津。ま。ま。と。愛。耳。と。愛。づ。ま。り。と。拈。耳。

老。子。公  
三。レ。カ。ラ  
サ。ト。シ  
サ。壯。子。ハ  
ニ。ツ。ニ。シ  
テ。ニ。シ  
ウ。ヲ  
シ。ル

後。古。在。名。一。卷。一。四



ぐく。いふ。ハ知ぬ。舌と愛。眼。眼と見たりと。夢。  
 指指と。指指とぬも愛。業。終ハ。轉と知ぬも愛。  
 茶。ハ。川。水と知ぬも愛。世の。解。ハ。度。能。楽。  
 不。き。と。愛。あ。の。の。多。分。が。起。こ。し。愛。一。休。と。愛。  
 元。ま。も。愛。語。と。と。無。言。さ。す。と。也。免。善。惡。  
 邪。正。何。と。か。も。同。み。一。法。師。の。一。人。狂。言。と。知。つ。  
 一。が。深。ひ。つ。知。ぬ。佛。う。お。ど。け。休。く。矣。の。香。出。つ。  
 そ。一。聖。み。う。り。口。出。る。ん。と。と。か。と。と。知。ぬ。  
 形。ふ。ぐ。る。中。心。を。先。是。切。で。果。を。較。と。や。何。も。  
 も。ス。ヤ。ハ。休。み。す。れ。い。形。ハ。一。す。と。一。ノ。根。と。あ。  
 一。早。也。休。み。す。れ。い。形。ハ。一。す。と。一。ノ。根。と。あ。

づつて。そ。く。から。伏。せ。り。ま。ま。と。引。け。り。  
 浪。の。り。船。の。音。の。り。き。天。拜。ふ。こ。と。の。し。を。  
 づ。る。

天明二年

寅の冬

出駒子著本

古今事考

三

跋

世人賞春宵者。言之價千金。十言穠花  
淡了。則其賞也。若清閒煮茶。  
舊故交摠。但多其情話。今讀  
此編者。其忙團樂抵掌之間。  
即不難執玉柄。能至說孟法。言  
辭鄙俚。却在探蘊奧。蓋性

理本源。無不是矣。亦能解人  
事。而便童習。故教示之象。不  
可無小補也。

天明癸卯孟春

王休子







京都書林

寺町押小路下止所  
急屋清玄坊

岡崎

菊屋長兵衛

西堀川松原寺町

炭屋文藏

比治通車町

吉田平玄衛

松原柳子場东入町

炭屋卯玄坊

京都書林

